



2014・12・1

第196号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

「9条守れ」の世論盛り上げへ集会&パレード

集会 2500 人、パレード 3000 人

11月24日、「安倍内閣の改憲暴走を許さない！九条の会集会&パレード」が実施されました。集会には会場の日比谷公会堂をあふれ場外に設けられた大型映像画面に見入る参加者を含めて 2500 人が参加。集会後、銀座、数寄屋橋を経て鍛冶橋にいたる約 2 キロのパレードに移ったころには、参加者は 3000 人に膨れ上がりました。

午後 1 時からの集会は、非戦を選ぶ演劇人の会のピースリーディング「9条が好きと言えなくなって…」で開会。つづいて九条の会よびかけ人の奥平康弘さん、澤地久枝さんがあいさつしました。そして各地・各分野から 10 の九条の会が登壇、10 月の「月間」の取り組みを報告しました。

最後に、小森陽一・九条の会事務局長が九条の会の 10 月の特別行動「月間」のよびかけが全国で積極的に受け止められ、創意ある多彩な行動が取り組まれたことを報告するとともに、解散・総選挙という機会を積極的に受け止め、安倍内閣に審判を下す好機とすることをよびかけた事務局からの提案をおこないました。

よびかけ人あいさつ (要旨)

奥平康弘 (憲法研究者)

現在われわれが当面している問題はどうかしようもないほど複雑で、これを脱却しなければわれわれは平和的に自由な生活ができなくなるのではないかというほどの政治的な危機が国内的にすすんでいます。そうした中で突然、総選挙が行われる。

彼らは、アベノミクスを貫徹という支配層の発想で、10%の消費税を先送りするというポーズをつくりつつ、すすめてきている防衛体制を一気に形にするために、邪魔者は外して、一気にやっつけてしまおうということだと思います。

こうした思惑に対して、どうしたら勝てるのか？ということを実感的ではなく真面目に考えなければならぬほど現状は危機に瀕していると思います。

今日の主題は何かといえば、私はあの連中が語っている「積極的平和主義」というスローガン、考え方に対して徹底して立ち向かっていくことです。

僕たちが戦後 60 年から 70 年かかって作ってきた「平和主義」というのは、ある意味で理念的なものです。普遍的な世界に示すべきスローガンとしての平和主義は、カント哲学の時代から永遠なる平和という時に出てくる平和であり、非常に理念的でロマン主義的なものです。我々を生き生きとさせる社会に不可欠な要件です。平和の維持だけではなく、平和にするという平和主義こそがいま求められている。

戦後、平和にする、戦争はしない、そのためには武器は持たないし、国外に行かないし、平和を破るような人間活動に対して、我々は対応をしてきた。

いろいろな邪魔者が入りました。でも僕たちは平和主義を作ってきたのです。平和主義は言葉ではない、「主義」というのはある種の理念であり、哲学であるから「主義」なのであって、政治的な、制約的な、手段としての平和は「平和主義」などといえるものではない。どうしても「平和」を使いたいのなら「平和戦力」という矛盾した言葉で形容してくれと言いたいほどです。「積極的平和主義」というのは、僕たちが築き上げてきた財産の上に乗って悪転用している。

かれらの「積極的平和主義」とたたかうためには、本当の意味での平和主義をどんどん作り上げ、積み重ねていき、創意工夫をこらして対応してきた 60 年、70 年の歴史の上に、さらに世界に普遍的なものとしてゆくことです。

それは憲法の前文の中に表れている平和主義。それは厳しいものです。良心的兵役を拒否した人たちのたたかいも含めて築き

上げてきたものです。戦後われわれは幸いなことに、憲法 9 条を作った。その中で出てくる魂としての平和主義を頑張って作っていかねばならないのです。かれらはいろいろな物を出してきますが、これに立ち向かっていくための平和主義だと、意気高く取り組んでいきましょう。

澤地久枝（作家）

私はいま、安倍総理がやっていることに非常に腹を立てています。7 月 1 日、安倍さんは閣議決定で集団的自衛権を認めました。結局、彼と彼の取り巻きたちが考えているのは、日本を戦争できる国にすることだと思います。

5 兆円を上回る防衛費を使って戦闘機をつくったり、武器 3 原則をないものにして、国内で武器を製造したり、軍需産業がいま、とても羽を伸ばしています。

安倍さんは、一般の人たちの生活を考えるのではなく、一握りの財閥のトップたちと話し合いをし、その人たちのプラスになるようなことを一生懸命やろうとしています。法人税も 20%代に下げるといいます。

安倍さんは世界のさまざまな国に行っています、財界の代表を引き連れて。しかし、安倍さんができていないのは、中国や韓国との間の平和会談です。安倍さんはしようと思っているけれども、向こうが応じないと言うんです。だけど、過去の歴史を考えたときに、日本はまず一番周辺にあってこの前の戦争の傷を引きずっている国々ちゃんと話し合いをしたらいいと思います。

沖縄県知事選挙で、辺野古への基地移転に反対の人が勝ちました。非常に困難なた

たかいだったと思いますが、勝ったんです。沖縄はいつになったら、基地であることから解放されるんですか。辺野古には爆撃機でも何でも飛んでいけるようなすごい基地をつくらうとしています。辺野古の人たちが座り込みをして反対しているのは当然です。アメリカの占領下で約70年間も基地のままであって、さらに30年、さらに100年以上もの間、基地の島として生きていくことを沖縄の人たちがもうたまらないと思ったから「オール沖縄」でたたかって、オナガさんを選ぶことができたんです。

私は、自民党と公明党以外の政党で、アベノミクスとか安倍政権に反対だという人たちが統一会派ができないだろうかと思ったんです。統一候補をつくって選挙をすれば、絶対に反安倍の人たちが勝ちますよ。何としても安倍さんに多数党の勝利を得させてはならないのが今度の選挙です。

私は各党の代表に会って、「あなたの党は自衛隊は武力を行使しないという一項目に賛成ですか」ということを聞いて、それに賛成してくれたら、その候補者一人ひとりがそれにイエスカノーかを聞いて、何県の何区とマルをつけるというようなことでもいい。そして結果的にはそれぞれの党が自衛隊は武力を使わないということを決めたらどうかと思っています。

私は本当は自衛隊全部否定し、まっさらな憲法のままの日本にしたいと思っています。自衛隊はいまや世界第4位です。だけど、自衛隊をゼロにするというようなことは、総反撃を食うでしょう。だけど、今度の選挙で私がすぐにでもできると思っているのは、自衛隊は武力を行使しない、とい

うこの一項目を言ってみて、「私はそれに賛成だ」という人がいたら、この人は賛成マークをつけるということです。私はこの人に投票してもいいと思っています。

私は安倍さんが、いまアベノミクスの信を問うといっているけれども、何もいいことはない。景気は悪い。それからインフレにするというけれど、みなさん年金生活の方も多いと思うけれども、インフレになったら、お金の値打ちはどんどん下がるんです。年金生活は脅かされます。医療費も削るといっているし、さらに教育にも手をつけて、30人クラスを42人クラスにする。そうすると、学校も担任の先生の人数が減って何千万円か浮くという。そんなくだらないことをして、お金を浮かせる必要はない。ちゃんと子どもたちは30人なら30人のクラスで行き届いた教育をしてもらえばいいです。

私はいつも、こういう突飛もないことを言いますけれども、これが私の今日みなさんへの呼びかけであり、提案です。

よびかけ人からのメッセージ

大江健三郎（作家）

11月21日は「九条の会・おおさか」、24日は、「さようなら原発1000人集会・伊丹」です。

年が明ければ、私は80歳になります。呼びかけ人に誘ってくださった加藤周一さん、私が声をかけた井上ひさしさんは、先行されました。私も友人の編集者に約束してい

る幾つかの文章と、自分自身に約束している幾冊かの本の再読に集中しなければなりません。つまり時間がないのです。そこでこの機会に、永年なじんできたブレイクの詩行をこの会のおかげで知りあった人たちに送っておきたいと思います。

眼ざめよ、おお、新時代の若者たちよ！

Rouse up, O, young Men of the New Age!

梅原 猛 (哲学者)

私は 90 年の人生に於て、約 70 年主に日本文化のことを研究してきましたが、日本は誠に平和の国です。平安時代には約 300 年の平和な時代があり、そこには戦争も内乱もなく、悪いことをしてもせいぜい遠島への流罪であり、死罪はありませんでした。また江戸時代には 250 年の平和がありました。この様な国は、世界にないと思います。

この様な平和の反動で、安土桃山時代及び明治以後には東アジアの隣国に侵略するということが行われたが、この日本は今なお仏教の償いに苦悩している状況です。

平和憲法には、この様な日本の平和の歴史と未来の人類への希望が象徴的に表現されています。

この憲法を改正するという事は、再び日本をあの愚挙の時代に返すという恐れも含んでいます。恐れを感じざるを得ません。

最近憲法九条がノーベル平和賞にノミネートにされたという話を聞きましたが、「九条」は日本の宝であり、戦争によって国の運命を賭けてきた人類の歴史への反省であり、未来の人類に対する希望なのです。

「九条」を守らねばなりません。

各地・各分野から「月間」の報告

閣議決定に怒り！の全道集会

北海道／札幌五輪団地九条の会

加賀谷義治

北海道では、九条の会の連絡組織として「九条の会ネットワーク北海道」を作り、お金がないのでネットでニュース情報交換をしてきました。ところが安倍さんが今回閣議決定というとんでもないことをやったので怒り心頭に発しまして、情報交換だけではダメだということになり、「閣議決定の撤回を求める北海道」という組織を新たに立ち上げ、九条の会としては初めて各地域の会が 11 月 24 日に向けて共同行動をとることになりました。九条の会 187 団体、協賛団体あわせて 200 団体をこえる組織が結集し、今日までがんばってきました。

11 月 20 日に札幌市民ホールで大集会を開きました。チラシ印刷などで経費が 70 万かかりました。参加費を 500 円とったのですが、「赤字になったら誰が負担するか」とお金の心配がありました。参加費は遠くから来る人は免除することにしたので 35 万しか集まらず焦りましたが、会場でカンパを訴えましたところ、なんと参加費より多い 38 万も集まり、今日の飛行機代を出してもらいました。署名は 2 万筆以上集め、集会は成功しました！

北海道は頑張るぞ。

議決定撤回を求め、地方議会に陳情

栃木県／太平山麓九条の会

大森八重子

栃木県栃木市をエリアに活動しています。集团的自衛権行使容認の「閣議決定」の撤回を求める陳情について報告します。

集团的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める陳情書を、栃木市議会9月議会に提出しました。採択に向けて議論の結果、全議員にアプローチしようと決め、手分けし34人全議員を訪問。会えなかった議員には再度お手紙や電話で訴えました。宣伝カーも出して市民へ傍聴の訴えもしました。

議員との話し合いでは、大方が「国が決めたこと、すでに終わった話」「抑止力には必要」との反応でしたが、集团的自衛権そのものについては見解が分かっても、憲法解釈で「閣議決定」で決めることは民主主義に反すると、このことを強調して働きかけていきました。

この訴えが保守系議員と共感した点です。保守系元議長は、「会派内にしつこくは言えない」と言っていたのですが、「将来を左右する重要な問題はまず国民に十分な説明が必要ではないか」と勉強会を行うなかで全員が賛成となり、他の会派も同じような状況が生まれました。

議会の状況からして陳情の採択は相当困難であると思われましたが、結果は僅差で不採択になりました。現在、街頭で集团的自衛権行使容認の賛否を問う「シール投票」に取り組んでいます。

「統一ビラ」2万3000枚を配布

千葉県/柏市内の9条の会

今泉紘宇

千葉県の柏市では、9つの地域で「9条の会」が結成されています。人口40万人、「近隣センター」と呼ばれる地域コミュニティの施設が21ありますが、この「近隣センター」ごとに「9条の会」が結成されるほどにしないと、市民の半数以上が9条を支持する勢力にしていく力にならないと考え、草の根の活動に取り組んでいるところです。

今回の統一行動月間の呼びかけに私たちは、「かしわ市民憲法集会実行委員会」という9つの地域の「9条の会」の連名による「統一ビラ」を作成、大量宣伝に取り組むこととしました。

「統一ビラ」は2万3000枚、すべて会員の手配りとしました。柏市17万の全世帯に対してほんの13%ですから、全世帯にお届けする“手がかり”がたったばかりです。緒についたばかりですが、作成から配布まで、すべて手づくり、大勢の参加によってできたことは、とても意義のあることでした。

ビラ作成は、各9条の会から作成委員をだしていただき、4回8時間にわたって議論しました。訴える対象を「子育て中のパパ・ママ、青年・学生」に絞り込み、キャッチコピーを《「戦争する国」ゴメンです!》としました。

そのうえで特定秘密保護法の強行成立、武器輸出3原則の放棄、集团的自衛権の行使容認閣議決定、軍事費の大幅増額という「戦争する国」づくりへの動きを時系列でしめし、立憲主義、民主主義を破壊しながら

ら平和憲法の破壊へと、暴走政権が進めようとしていることを明らかにするビラとしました。

ビラはA4判ウラ・オモテの2ページ。一人で2、3日かけて1000枚配る人もいれば、隣近所に20枚、30枚配る人。いつも戦争体験を話されている89歳の男性は「字が小さくて、読みにくい」と不平不満を言いながらも、「団地の1階にある集合ポストに入れるならできる」と頑張っておりました。やはり80代の東京大空襲の体験者も、「『戦争する国』ゴメンです!」のビラには、自らの声を届けようという思いに突き動かされるものがあつたのだと思います、元気に配っておりました。

総括の会議では、次はいつ出すのか、春夏秋冬4回はどうか、など期待が高まっています。だが無理をせず、地道に取り組んでまいりたいと考えております。

自衛隊機、米軍機の騒音に抗議行動

東京都／成城・祖師谷九条の会

浅津 透

安倍内閣の「集団的自衛権行使の閣議決定」や「日米防衛協力指針（ガイドライン）の見直し」による米軍支援拡大一途の状況の中で今、世田谷の上空は自衛隊機、米軍機の「空の交差点」となっています。空の騒音問題は、騒音や機体事故だけではなく沖縄や横田など基地問題ともつながっています。

今まで私たちは、機体の飛行観測、識者による講演会、騒音問題のチラシ配布、世田谷区役所との情報交流などを行なってきた

ましたが、先月は港区麻布米軍ヘリ基地問題に取り組んでいる方々と情報交換を行いました。機体の観測では、会のメンバーが個々に爆音を聞いた時、飛行の方向、ヘリか飛行機か、プロペラが単発か双発かなどを確認し共通の観測シートに記入し1ヶ月間の飛行実態をまとめたりしました。

今後は騒音測定器による調査や、点から線としての連帯した取り組みにして行くため、機体飛行ルートにそった地域九条の会への呼びかけを行い問題の共有化を図ることや、また騒音問題に取り組んでいる方々との連絡会結成などを考えています。

地域でのめげない署名行動

東京都西多摩郡／日の出九条の会

相田諭子

初めて署名簿が届いてきて、感激して取り組むうちに、断られても続けてめげずにやれる方法を思いつきました。

(1) このように横書きの便箋などを用意し、訪れた全ての家の名字をすばやく書きます。表札が無い所は部屋番号か()でもよく、留守のお宅も全部書きます。

(2) 結果が出たら記号で記録します。

- ・署名OK。9条ニュースやビラも続けて入れて下さい...○
- ・「ニュースやビラは今後も入れてみて」...△
- ・無関心、反対...×
- ・留守宅...□

これだけなんです、やってみると☆断られても留守でもちゃんと働きかけをしているんだ、と思えました。

☆途中でも○の割合はどれだけ、□△はまた来ようなどの確認ができ、後で周った総数が意外に多いという実感が持てました。

☆何より、楽な気持ちで、どんどん周れるのが良かったです。メンバーのひとりが思いついた方法で、やってみた人が「これは企業秘密にしておこう」って言ったくらいなんです。

でもこっそりお教えしますので、よかったら試してみてください。

「かながわ大集会」に 1600 人

神奈川県／九条かながわの会

後藤仁敏

かながわの会の県単位の会ですが、県内にある 2 百を超える会の一つとして活動しています。

私は台風 19 号が接近中の 10 月 13 日、九条かながわの会と川崎市内の九条の会が協力して開催した「あなたは戦争をする国を許しますか？ 今こそ 9 条 in 川崎 九条かながわ大集会」について報告します。

午前中は、国際情勢、原発、教育、マスクミ、憲法破壊、慰安婦問題、9 条と 25 条、若者と憲法をテーマにした 8 つの分科会と、明大登戸研究所への見学が行われました。

「改憲派」だった小林節慶応大名誉教授も安倍政権の憲法破壊に怒りを表明しました。準備した川崎市内の各九条の会の努力によりどの会も満杯となり、中に入れぬ人も多く出てしまいました。

午後は、エポックなかはらで、全体会を開催しました。ここでも大ホールだけでなく、第 2 会場まで満杯となりました。地元

の京浜協同劇団の権兵衛太鼓、松元ヒロさんの風刺トークへの大爆笑の後、東京新聞の半田滋さんが記念講演「日本は戦争をするのか—集団的自衛権と自衛隊」で、戦争する国にならないよう頑張ろうと訴えました。

続いて、県内の各九条の会の方々が幟や横断幕を持って登壇し、4 つの会が活動報告し、とくに座間・相模原の「憲法 9 条にノーベル平和賞を」の取り組みに大きな拍手が送られました。最後に、若者が川崎アピールを朗読しました。分科会、全体会合わせて延べ 1600 人の参加で大成功させることができました。

市の公園に「平和の木」

大分県／九条の会・うすき

奥田富美子

この 22 日に、私たちが活動を始めて 10 周年になったのを記念して、アーサー・ピナードさんの講演会を開催しました。その前日には、アーサーさんに市内の小学校で、絵本をつうじて平和の授業をしてもらいました。その中で、「キンコンカンせんそう」という絵本を読んでもらったのですが、ナガサキ、ヒロシマに使われた「ファットマン」「リトルボーイ」とも呼ばれる絵本の中の原子爆弾、その絵を見て言い当てた子ども達に驚かされました。大分県は年に 3 回から 4 回、平和授業をしています。いまそれに対する攻撃がされるようになっていて非常に厳しい状況にありますが、この授業ができてよかったと思います。そして今回の講演会で得られた収益で市内 19 の小中学校にアーサーさんの絵本を贈ろうというこ

とで、事務局員が手分けして 19 校にお届けしました。本は、「ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸」という絵本で、やはりアーサーさんが手がけたものでした。

この春、臼杵市の公園に被爆アオギリ二世の苗を植樹しました。2 年前に広島が舞台の「アオギリにたくして」という映画をつくった中村里美さんにご縁があつて、ピースライブをしたときにいただいた苗です。アオギリ(青桐)という木は非常に大きくなるので、平和の象徴としてどこかに植えたいたいと思い、市にはたらきかけをして市内の公園に植えました。市がプレートを用意してくださって、「平和を願い ヒロシマの被爆 アオギリ二世 植樹 2014・5・14 九条の会・うすき」と書いてあります。臼杵市にくる機会があつたら立ち寄ってください。

ぬり絵や折鶴で行動に参加も

「九条の会アピール」に賛同する女性の会
関千枝子

女性の九条の会、地域で頑張っております。

高知の女性「九条の会」、誕生 9 年の会を行い、沖縄の状況を聞きました。沖縄との連帯を深めました。県内の戦争遺跡を訪ねる平和ツアーも続けております。「いしがき女性 9 条の会」、署名集めは年間を通じて行い、街頭アピールを 5 月に 2 回行いました。11 月 9 日にも行いました。神奈川女性「九条の会」、「愛 LOVE 9 条」の文字を花で囲む「ぬり絵をぬってパレードに参加を」と呼びかけています。

女性「九条の会」は地方在住者、高齢者が多く本日のパレードにそんなに多くの参加が望めないのですが、「あなたの代わりに鶴の参加を」と折鶴を折って送ってくださいと呼びかけましたら、1000 羽を超す鶴が送られてきました。一人で 82 羽折った人もいます。沖縄の賛同者からも送られてきました。鶴の羽には様々な思いが書き込まれています。「9 条を守り平和な世界を」「孫が戦場に行くことがないように」「辺野古に基地はいらぬ」「原発はいらぬ」「武器を外国に売らぬ」そして大きな字で「愛」と。

女たちの思いを込めて、本日、私たちは歩きます。

大学祭で「いのちと平和」考える

学生九条の会ネットワーク Peace Night9
実行委員会

加藤友志

「月間」のとりくみ報告として、わたしの所属する東京学芸大学 9 条の会の活動を紹介します。

学園祭で開催した「いのちと平和の絵本展」では、子どもの本九条の会の方のご協力で、平和や人権をテーマにした 150 冊以上の絵本や児童書を教室に展示し、浜田桂子さんの『へいわってどんなこと?』をよみかかせしました。来場者と対話が続き、スケッチブックに「じぶんにとっての平和」を書いてもらいました。小学生からは「いじめのないせかい」、大学生は「なにかに感動できること」、パバママ世代からは「子どもの笑顔」など、素直な表現がいっぱいで

した。

政治の難しいことは分からなくても、「平和がいいね・戦争いやだ」の思いは誰もが共通してもっています。

子どもが描く「へいわなせかい」をみなさんと作り上げていきましょう！

Peace Night 9 実行委員会では、12月19日に早稲田大学で大規模な企画「第6回 Peace Night 9」を行います。

メインに小森陽一先生とスタジオジブリの高畑勲監督の対談、さらにパレスチナ・ガザの今をジャーナリストの志葉玲さんから報告していただきます。

学生だけの企画ですので、カンパにもご協力いただけると助かります。

わたしたち学生もがんばります！ありがとうございました。

知るきっかけをつくろうと

宮城県／みやぎ青年9条の会 KIRAKIRA☆9

藪田美里

私たちは今年の5月に結成され、今は20人程で活動しています。

今日は10月に行ったハロウィンパレードの衣装で参加してます。この角は安倍政権への怒りの角です!!

今、日本は、どんどん戦争をできる国になろうとしています。大切な人を、戦争に送り出すことになるかもしれない。危機感が広がる中、たくさんの人に気づいてもらうために活動しています。

立憲主義やデモについてそもそもの疑問に答える学習会、平和のワンコ「へいわん」のおみこしを作って8月にお祭りパレード、

10月にハロウィンパレードをおこない、ダンスあり、音楽あり、楽しみながら取り組んできました。今日はこの日のためにミニ／へいわん／みこしをつくりました!! 12月20日にはクリスマスパレードをおこないます。

若者は政治に無関心だなんて、よく言われますが。私はそうは思いません。限られた情報のなかで、誰も今何が起こっているのか教えてくれないから無関心でいるほかないのだと思います。知るきっかけがないのなら、私たちできっかけを作っていきましょう！

未来をつくるのは、私たち一人ひとりの国民です！

みんなが気づけば社会は変わるし、変えられる！

平和への思いに、住んでる場所も年齢も関係ありません。

ともに頑張りましょう!!